

令和5年度

校長室だより1月号 No.9

宝達志水町立押水第一小学校 R6.1.16

本年もよろしく申し上げます

年が明けて令和6年となりました。

1月1日の「令和6年能登半島地震」では、甚大な被害が能登地方全域に及びました。毎日の報道等を通して、筆舌に尽くしがたいつらい思いをされた方や、今も大変な暮らしを余儀なくされている方が、非常にたくさんいらっしゃることに心を痛めております。

宝達志水町におきましても、被害を受けられた方が多数おいでのことと聞いております。謹んでお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧をお祈り申し上げるばかりです。

幸いにして、本町におきましては断水状態も早々に解消され、本校では1月9日に予定通り3学期の始業式を行うことができました。

以下は、始業式で児童に話した内容となります。

年が明けて令和6年となりました。

3学期の始業式で、押水第一小学校の皆さんに「あけましておめでとうございます」と、新年のあいさつをするのを楽しみにしていたのですが、皆さんも知っているとおり、1月1日午後4時10分に発生した「令和6年能登半島地震」で、昨日の時点で、168名もの方が、本当に悲しいことですがお亡くなりになりました。今も日本全国から自衛隊、消防隊、救急隊の方たちが駆け付け、300人以上の安否不明の方を捜索しています。

幸いなことに、押水第一小学校の皆さんは、全員無事でした。教頭先生が、マチコミで確認してくれましたが、地震が起きてから、校長先生が一番「よかったな」と思ったことです。

校長先生が今日この始業式で皆さんに言いたいことは1つです。

「令和6年能登半島地震」でたくさんの方がお亡くなりになりました。その犠牲となった方たちが、「生きたい」と思っていた未来を、今私たちは生きています。どうか「1日1日を大切にする」という気持ちをもって、3学期も前に進んでいってください。

以上で校長先生のお話を終わります。

保護者・地域の皆様におかれましては、本年も押水第一小学校の教育活動にご支援とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



教職員アンケート結果

12月に学校評価の保護者アンケートおよび児童アンケート、教職員アンケートを実施いたしました。このうち教職員アンケートの結果を以下にお示しいたします。教職員アンケートは押水第一小学校教職員の今年度の取組に関する自己評価です。

先生方におきましては、評価項目や評価の観点を年度当初から意識して各活動に取り組んでいただき、多くの項目で肯定的回答の割合が100%となりました。この水準を維持できるように、引き続き各活動の内容の充実を図っていきたいと考えております。

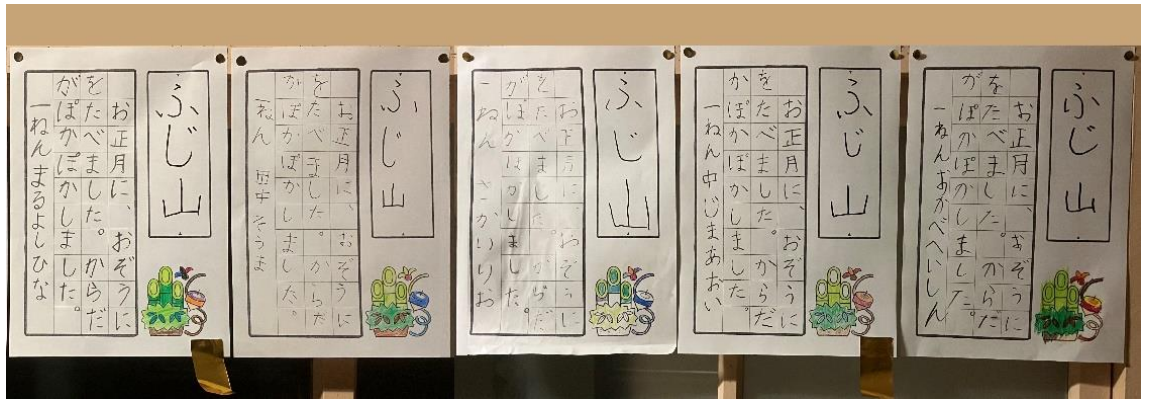
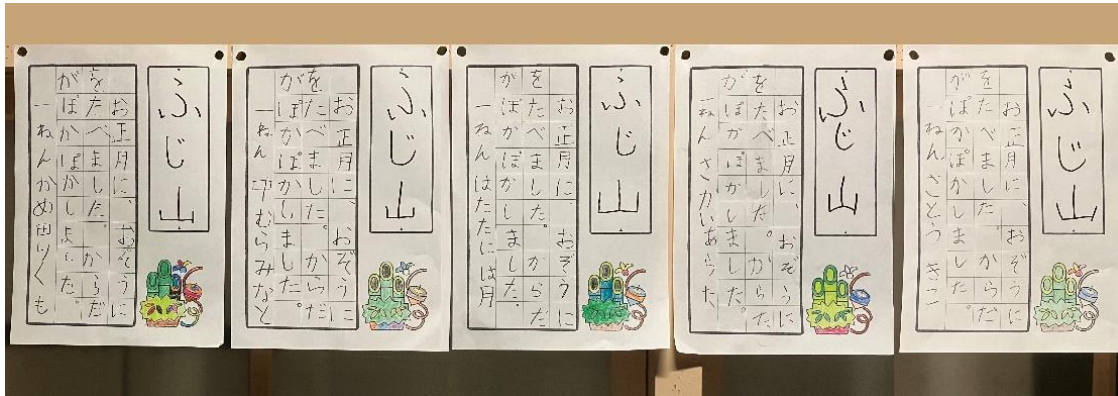
一方、10「保育所・中学校との連携」につきましては肯定的回答の割合が低いとの結果でした。昨年度、肯定的回答の割合の低かった9「外部人材の活用」(昨年度67%)は改善されてきているので、保育所や中学校に関しても相互に連絡を取り合っ、充実を図っていきたいです。

保護者アンケートおよび児童アンケートの結果につきましては、次号で紹介いたします。

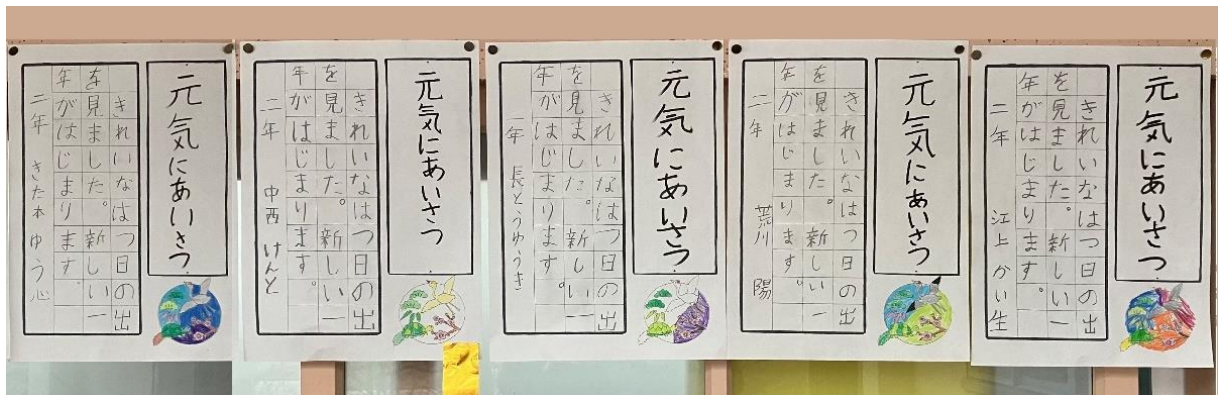
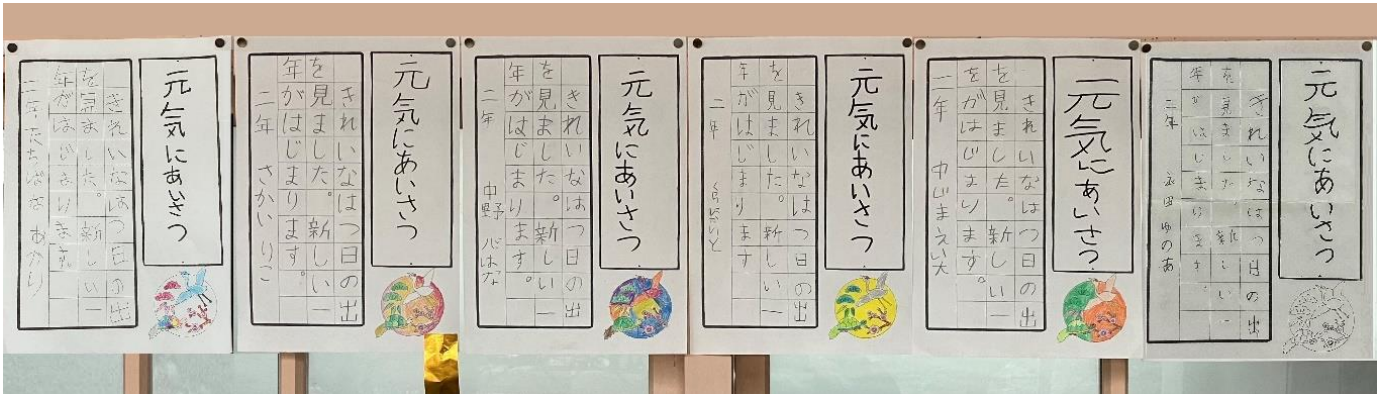
		評価の観点	肯定的回答の割合			評価の観点	肯定的回答の割合	
確かな学力の育成	1	朝学習やドリルタイムでは提案された内容を計画的に実施している	100%	学習 指 導 要 領	23	道徳の授業の充実を図っている	100%	
	2	ロードマップに沿った学力向上対策を実施している	83%		24	外国語の学習に積極的に取り組んでいる	83%	
	3	ゴールの姿をイメージして授業している	100%		25	GIGAスクール構想の実現に向けて積極的に実践を積み重ねている	100%	
	4	授業や補充学習等で、一人一人の様子を見取り、	100%		育若 成手	26	〇若手育成プログラムは計画的に実施されている	100%
	5	家庭学習の内容や仕方を指導している	100%			27	読書活動を推進し、読書量増加につなげている	100%
チーム学校力の充実	6	校内研修会やOJTが計画的に行われている	100%	校務 分 掌 に 関 す る 項 目 そ の 他	28	アンテナを高くし、児童の変化を見取り適切に対応している	100%	
	7	役割と責任を完結できるように校務の運営を行っている	100%		29	生徒指導主事を中心とした組織的な対応が取られている	100%	
	8	自分の校務に関する効率化を図っている	100%		30	いじめを生まないために、児童相互のよりよい人間関係づくりに努めている	100%	
	9	外部人材を活用している	86%		31	生活目標に対して、具体的な取組をしている	100%	
	10	保育所・小中学校の連携が図られている	57%		32	食育を行い、給食指導をしている	100%	
	11	管理職への報連相の徹底を意識して行っている	86%		33	清掃指導をしている	100%	
	12	全職員が助け合い・連携し合いながら協働的に仕事をしている	100%		34	体育の授業や対外行事等で児童の体力向上に努めている(1校1プラン スポチャレ)	100%	
	13	PDCAサイクルを意識した学校運営が行われている	100%		35	養護教諭を中心に児童の健康管理や健康づくりのための取組が行われている	100%	
	14	校内研修(学校研究含む)は授業改善や教師の力量の向上につながっている	100%		36	生徒指導や特別支援教育の充実のため、児童理解の会や支援委員会は機能している	100%	
	15	職員は意欲的に校内研修に関わっている	100%		37	危機意識を持ち安全点検や研修会を行い、有事に備えている	100%	
家庭・地域との連携	16	時刻を区切り、適正な勤務時間としての働き方ができている	100%	38	様々な災害に対応するための避難訓練が計画的に行われている	100%		
	17	適正な勤務時間で働くことができる環境を整えている(取組 方策 環境整備 等)	100%	39	児童は目標を意識し、その達成のために努力している	100%		
	18	学級だより等を通して学校や学級の様子を知らせている	100%	40	児童は自分の役割に責任を持ち活動している	100%		
	19	ホームページの更新により情報発信が行われている	100%					
	20	家庭や地域からの声を適切に受け止め、学級や学校の運営に生かそうとしている	100%					
	21	保護者との連絡を密にし、保護者との信頼関係を築くよう努めている	100%					
	22	児童の地域等(PTA活動 地域行事)への参加を呼びかけている	71%					

○書初め作品（1～2年生）

一年生

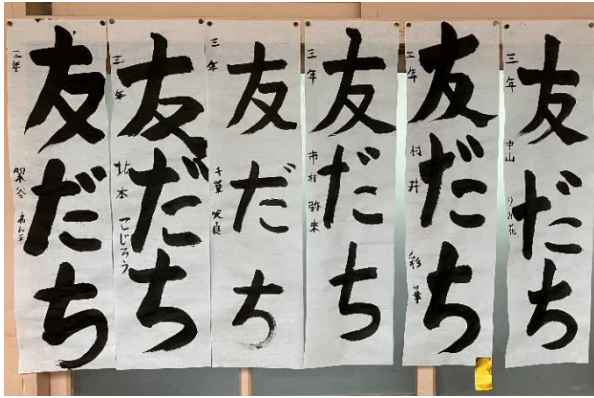


二年生



○書初め作品（3～6年生）

三年生



四年生



五年生



六年生



書初めは、平安時代に宮中で行われていた年始に天皇に縁起の良い言葉を申し上げる「吉書の奏」が起源だと言われています。江戸時代になると、庶民の間でもそれが知られるようになり、新年にその年の恵方に向かって詩歌や文書を書くことが行事として広がっていったそうです。

現代では、書初めには、大切にしたいことや心がけたいこと、1年の抱負などをしたため、目標成就を祈念する意味も込められていますが、被災した能登が、書初めでしたためた児童の思いや希望であふれますよう、1日も早い復興を願うばかりです。

